

信長・光秀の高島攻め 饗庭三坊の城探訪

～琵琶湖里山の自然を大切に環境保全に努めましょう～

◆日時 令和6年4月11日(木) 9:40～15:00ごろ 小雨決行

◆集合場所 JR 新旭駅 9:40

◆コース JR 新旭駅 9:40-阿弥陀寺-吉武城跡-ノウルシ群生地-日爪城跡・南谷遺跡-JR 新旭駅

◆参加 (事前申し込み制)

※ 定員 10名 催行人員 2名から

※参加費 1,500 円(資料代・環境整備費・保険・事務経費)

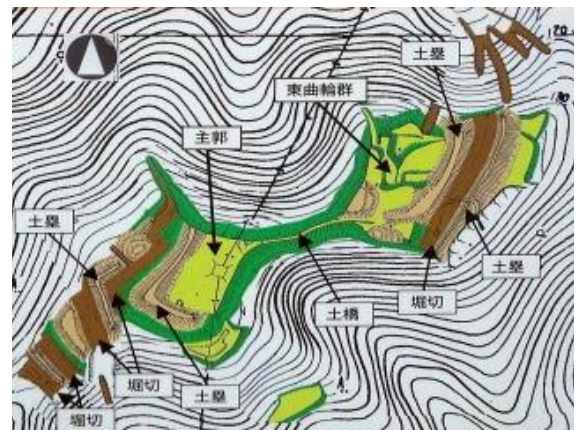
お弁当はご持参ください。

◆申込方法 電話・メール・FAX にて、下記に必要事項を添えてお申込みください。

◆申込必要事項:代表者の氏名・ご住所・電話番号・参加者全員の氏名・生年月日

※ただし、メール・FAX でお申込みの場合、事務局より2・3日以内に受付の確認をします。2・3日以内に連絡がない場合は、お電話でお問い合わせください。

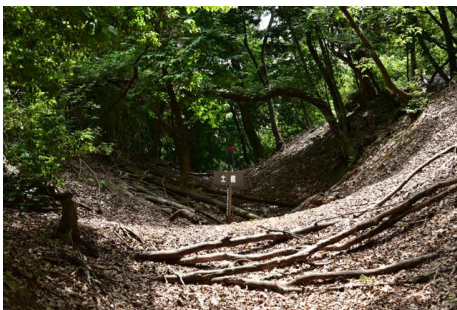
お花が群生！！
“きれい”で～すよ！



主郭背後の連続堀切



急峻な長い土橋：見ごたえあり！



東斜面の長い堀切と土橋



主郭からの眺望

※南谷遺跡には、西日本では珍しい「ねごや」の地名が伝えら、歴史ロマンを語り合ひましよう

戦国時代の末になると、高島郡では「饗庭三坊」が有力土豪として台頭してきます。永禄9年(1566)高島郡への影響力を強める浅井長政は、善積荘・河上荘・木津荘・保坂関の取り分の一部を西林坊・定林坊・宝光坊にあてがっています。「高島郡誌」には、「吉武老岐守の長子が西林坊と号し日爪城に、次子が定林坊と号し霜降村に、季子(末子)が吉武老岐守と称し、五十川村の吉武城のいた」と記されています。新旭の南部では、清水山城や新庄城が築かれるのに対して、北部の木津荘の範囲には、日爪城や饗庭館・そして五十川城やその城下と考えられる吉武城が築かれています。元龜3年(1572)5月19日の「明智光秀書状写」が「細川家文書」に、「饗庭三坊の城下まで放火し、敵城三個所落去した」の記述があります。

主催 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

TEL/FAX 0740-32-0206

携帯 09046877589

e-mail:qsms10680@maia.eonet.ne.jp

<https://koseiyumehu04.web.fc2.com>